

東京れんめい

第
56
号



編集・発行／東京都看護連盟 発行責任者／伊藤由美子
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前一丁目10番34号 原宿コーポ別館511号室
電話:03-3796-0270 FAX:03-3796-0271 E-mail:office.tokyo@kango-renmei.gr.jp



7月28日の熊本県での地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



東京都看護連盟
会長 伊藤 由美子

日頃より、東京都看護連盟の活動にご協力いただき心より感謝を申し上げます。

診療報酬改定では、30年ぶりに3%を超える高い改定率を獲得することができました。看護職の組織代表議員の力はもとより、東京都看護連盟も都内選出の衆参国會議員の方々に陳情活動を行うなど多くの議員に看護を理解いただく活動しております。ベースアップ評価料では今年度と来年度でベア3.2%を実現する賃上げ対応となりました。

この時期は施設訪問にご協力いただいておりますが、社会情勢の変化の中、物価高で病院経営が追いつかないという声も聴かれています。東京で働く看護職の声を、各級議員に届けられるよう尽力して参ります。

さて、看護連盟は大きな転換期を迎えています。

会員数の減少による組織・財政基盤の弱体化への危機です。特に20～30代の若年層の入会者の減少です。

この危機に対応し、今年度は青年部を支部に格上げするとともに、施設支部から新たに、『信じられない位、力のある星』UPS(Unbelievably Powerful Star)を青年部支部の下部に置き、若手会員の確保に向けた活動を推進いたします。

「なぜ今、看護連盟が存在するのか」Z世代の納得感に焦点を当て、パーパスの策定に取り組んでいます。理解・共感・行動・定着のサイクルで、秋以降に新たなパーパスへの共感と価値創造の活動が始まります。都内で働く看護職の皆さんに東京都看護連盟の活動へのお力添えをいただきますようお願いいたします。



公益社団法人
東京都看護協会
会長 柳橋 礼子

東京都看護連盟の会員の皆様には、東京都看護協会の事業にご理解とご支援を賜り感謝を申し上げます。7月28日に震度7の地震が熊本県で発生し、甚大な被害がありました。被災された皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。

発災当初から熊本県内で、そして8月3日には九州地方の各県から災害支援ナースが活動を開始しております。一日も早く現地が落ち着きますように、お祈り申し上げます。

さて当協会では6月18日の総会で改選役員の選出があり、新しい役員を迎えて事業をスタートいたしました。新規の研修会や交流会等を企画

しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。また令和9年度に向けて、国、東京都への政策提言と予算要望を行う時期になってまいりました。連盟の皆様からもご意見を頂戴しながら、看護職の人材確保と処遇改善、生涯学習支援、自然災害への対応強化をめざして活動を活発にしていきたいと思っております。

これからも伊藤由美子会長はじめ、連盟会員の皆様と連携しながら、それぞれの役割を果たせるよう共に努力をしてまいります。

今後とも一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



衆議院議員
あべ 俊子

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

2月に行われた第51回衆議院議員選挙では比例中国ブロックにて8回目の当選をすることができました。これも常日頃、皆様からご支援とご指導をいただいているお陰です。

第221回国会では、私は自民党孤独・孤立対策特命委員会の委員長を拝命し、委員長として特に内密出産や子どもの自殺対策に取り組んでおります。また、JPFP(国際人口問題議員懇談会)の生命(いのち)の安全教育プロジェクトチームの座長も拝命し、若年層への生命の安全教育に関するシンポジウム開催など、忙しい日々を送っております。先日は、日本国会代表団として、第2回IPU(列国議会同盟)世界女性議員会議(セルビア)にも出席致しました。

そのなかで、皆様の業務改善のため、病院記録の課題の洗い出しと対策、電子カルテの1患者1カルテへの改善も進めております。

今後も看護職の皆様が安心して働き続けられる環境づくり、そして専門職としてのさらなる資質向上を支援するため、看護連盟の皆様と連携を密にしながら、より一層努めてまいります。

引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。



衆議院議員
たかがい 恵美子

東京都看護連盟の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、国民の健康と福祉の向上、そして看護職の発展のため、日々ご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

このたびの熊本地震により、尊い命を失われた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地では今なお、多くの看護職の皆様が厳しい環境の中で懸命に活動を続けておられます。その献身的なご尽力に深く敬意を表するとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

政府においては、七月に経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)が閣議決定され、責任ある積極財政をはじめ、社会保障分野における今後の方向性が示されました。こうした中、国民が安心して必要な医療を受けられる体制の充実と、医療現場を担う看護職の皆様が安心して働き続けられる環境づくりは、ますます重要となっています。

私も、現場の声を国政にしっかりと届け、皆様の活動を後押しできる政策の実現に向け、全力で取り組んでまいります。



参議院議員
石田 まさひろ

東京都看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

国会議員等400名以上の参加の下、看護問題対策議員連盟(看護連)を開催しました。各看護団体から要望があり、特に日本看護連盟・協会から、離島・へき地の看護活動や養成課程、医療提供体制等について要望がありました。これを踏まえ、過疎地域の医療提供体制確保に向けた看護職員の活用や、地方での人材確保に向けたプロジェクトチームが看護連内に設置されることとなりました。

また、看護学校では受験者数の減少や定員割れが続き、学校運営が困難となる事例も見られています。地域によっては新人看護師の確保が難しく、看護職員の地域偏在が深刻な課題となっています。厚生労働委員会でこの問題を取り上げ、看護職員の養成・確保のあり方について抜本的な検討を訴えました。その結果、厚生労働省では「2040年に向けた看護職員の養成確保のあり方に関する検討会」が設置され、令和8年度内の取りまとめに向けた議論が進んでいます。

看護職員が安定的に確保され、その力を十分に発揮できる環境整備に向け、引き続き尽力してまいります。



参議院議員
友納 りお

東京都看護連盟の皆さま、こんにちは。

日頃より医療の最前線でご尽力いただいておりますことに、心より敬意と感謝申し上げます。現在は環境大臣政務官としての公務に加え、医療・看護政策を中心に日々全力で取り組んでおります。

厚生労働省では、2040年を見据えた看護職員の養成・確保の在り方に関する検討会が始まりました。少子高齢化が進む中、人材確保や、働き続けられる職場環境の整備、専門性の向上は喫緊の課題です。また、自然災害時の支援や超高齢社会の進展に伴う在宅医療・介護ニーズの増加など、看護職に求められる役割は一層大きなものとなっています。

皆さまが安心して力を発揮できる環境整備にしっかりと取り組むとともに、産後ケアを中心とした妊産婦のメンタルヘルス支援や、若者支援に取り組む議員連盟の立ち上げなどを通じて、誰もが安心して暮らせる社会づくりの実現に力を注いでいます。

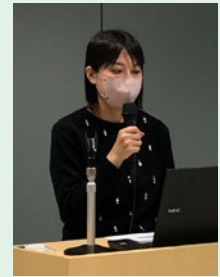
これからも現場の声を大切に、皆さまのお力になれるよう全力で取り組んでまいります。引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

研修会報告

テーマ：身体的拘束低減への取り組み
 日 時：2026年1月24日(土) 14:00～16:30
 場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂
 講 師：東京慈恵会医科大学西部医療センター
 認知症看護認定看護師 細井 あゆみ
 参加者：34名(オンライン参加10名)

<感想>

- ・抑制を行う前にその患者の生活背景や性格を考えたうえで、不穏や転倒、挿入物自己抜去等の予防策を考えることが患者の尊厳を守ることになると学んだ。
- ・患者の持っている力を引き出し、生活を整える視点や意思を尊重する職場風土を維持していきたいと思った。
- ・スタッフへ認知症患者の身体抑制の指針や意識付け、動機付けなどを行うことが拘束低減への一歩に繋がると感じた。

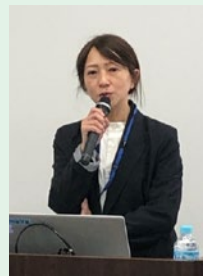


- ・身体拘束について同じようなジレンマや困り事があることがわかりとても参考になった。
- ・カンファレンスや記録はファシリテートや指導者を育てるために必要なため継続させることが大切であると思った。

テーマ：急変の予測と看護～症例を通して学ぼう～
 日 時：2026年2月28日(土) 14:00～16:30
 場 所：東京都看護協会 302号室
 講 師：東邦大学医療センター大橋病院
 集中ケア認定看護師 須郷 恵美
 参加者：36名(オンライン参加2名)

<感想>

- ・おかしいと感じてもうまくアセスメントが出来ず言語化するのが難しかったが、アセスメントする力が身についた気がする。
- ・患者のことを診る視点が勉強になり、迅速評価や病態予測を念頭に入れて日頃のケアを行っていききたい。



- ・器具を使用せず、その場で意識、ABCで迅速に評価することを実践していきたい。
- ・急変は代償の機転という視点に気づけて良かった。臨床でも意識して活用していきたい。
- ・迅速評価を日々行い、急変を少しでも事前に防げるようにしたいと思った。

東京都看護協会・東京都看護連盟 共催研修会

日 時：2026年3月21日(土) 13:30～16:00
 場 所：東京都看護協会 1AB研修室
 講 師：厚生労働省保険局医療課 平野 真紀
 参加者：328名(オンライン参加 274名)

テーマ：令和8年度診療報酬改定のポイント
 —令和8年度診療報酬改定の視点—

- 視点1 物価や賃金、人手不足などの医療機関を取り巻く環境の変化への対応
- 視点2 2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保、地域包括ケアシステムの推進
- 視点3 安心・安全での質の高い医療の推進
- 視点4 効率化・適正化を通じた医療保険制度の安全性・持続可能性の向上



リーダー連絡員会

日 時：2026年5月23日(土) 14:00～16:30
 場 所：東京消防庁スクワール麹町
 参加者：73名

内 容：<講義>

テーマ：幹事・支部長・支部幹事長・施設連絡員の役割
 組織の存在意義パーパスの作成

講 師：日本看護連盟常任幹事 福田淑江

<地区会議>

テーマ：各地区の具体的活動計画とパーパスの作成

東京都看護連盟通常総会

日 時：2026年6月20日（土）14：00～16：00
場 所：東京消防庁スクワール麹町
参加者：95名、委任状1290枚、来賓31名



日本看護連盟通常総会

日 時：2026年7月29日（水）13：00～15：30
場 所：東京プリンスホテル
参加者：代議員7名



入会のお誘い

私たちが目指すのは、人々が健康で
明るく暮らせるような社会を作る
ことです。
そのために労働条件の改善をはか
り看護教育の水準を高めるなどの
体制づくりが必要です。

【会 費】

日本看護連盟 5,000円
東京都看護連盟 5,000円
合 計 10,000円

【公式サイト】



【申込方法】

規定の用紙に記入の上、
東京都看護連盟 宛に送付して下さい
電話：03-3796-0270
メールアドレス：
office.tokyo@kango-renmei.gr.jp

従来の内容を踏襲しつつ、レイアウト等の
見直しを行いました。
是非、ご覧いただきたいと思います。
左のQRコードからスマホでご覧ください。
<https://www.tokyo-kangorenmei.jp/>



賛助会員



学生会員



2026年度 東京都看護連盟役員・支部長

会 長 伊藤 由美子
副会長 細川 香代子
幹事長 宮城 智賀子

幹事（財務担当）
幹事（看護協会担当）
監事
監事

荻島 理恵子
野月 千春
平野 博美
岡部 真由美

東部地区幹事 高野 ひろみ
南部地区幹事 小林 洋子

西部地区幹事 荻島 理恵子

中部地区幹事 佐藤 吟子
多摩北・南地区幹事 佐伯 真吾

青年部幹事 成澤 知華穂

A支部長 松本 貴子
A支部長 森 智子
C支部長 菅野 真紀
A支部長 潮 真規子
C支部長 篠 美奈子
A支部長 藤森 晴江
北A支部長 井上 理恵
南A支部長 松崎 伊久子
支部長 成澤 知華穂
ひまわり会支部（OB会） 支部長 尾崎 幹子
B支部長 有吉 奈良子
D支部長 比嘉 直子
B支部長 小倉 環
D支部長 野田 晶子
B支部長 佐藤 吟子
南B支部長 中原 順子



青年部活動報告

『ナースまつり2026』初参加

7月8日～
10日



全国からかけつけてくれた青年部・UPSメンバーと

東京ビッグサイトで開催された「ナースまつり2026」に青年部として初参加！看護師の声を国に届ける「ナースコールボード」を設置し、看護師やご家族から多くの切実な声をいただきました。

「まま いつも びょういん」

「働きたいけど心がついていかない」

いただいた声を国政へ届け、現場の環境改善につなげることが、私たち青年部の次の役割です。ご協力いただいた全国の青年部・UPSメンバー、お越しくださった皆様に心より感謝申し上げます。

3日間来場者数

540名

ボードの声

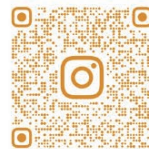
250件以上

フォロワー数

667人→**854人**
(8/7 現在)



Instagramでも
活動を発信中！ぜひ
フォローして下さい



『青年部交流会』開催！（7月）

「青年部交流会」が開催されました。今回は3回目を迎え、参加者は**51名**と、回を重ねるごとに増えています！

全国の青年部メンバーがつながる、楽しい交流の場となりました。

次回も開催予定です。ぜひご参加ください！



自民党青年局との意見交換会（3月）

「現場の課題が国に届かなければ変わらない！」

全国の青年部メンバーから、育児との両立や専門性の評価など、現場の声を届けました。活発な意見交換となり、1時間では足りないほどに。今後も、看護師が安心して働き続けられる環境作りに取り組みます！



「2026 青年部支部へ」

青年部は「委員会」から「支部」となりました。

今後も、看護学生・若手看護職と連盟をつなぐ架け橋として、青年部の役割を発揮していきます！

ひまわり会皆さんと♡



2026年度 活動計画

重点方針

1. 見える活動 2. 行動する会員 3. 確かな組織づくり

項目	目 標	方 針	活 動	評 価 指 標
政治力・政策実現力の強化	目標1 看護職国会議員の支援	1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補予定者の擁立 2) コンプライアンス（法令遵守）に基づく政治活動の推進 3) 看護職国会議員との連携と協働	1) ① 第28回参議院議員選挙に向け、組織内候補予定者の支援体制を整備する。 ② 第28回参議院議員選挙に向け、組織内候補予定者を周知する。 ③ 新支部長、新支部連絡員の育成を推進する。 リーダー連絡会（5月23日）、定例地区会議（6回/年）8回 2) 選挙活動におけるコンプライアンスを保守するために、新マニュアル等の周知徹底をする。 3) ① 知名度向上のため広報誌「東京れんめい」、ホームページ等を活用し周知する。（広報委員会） ② 看護職国会議員の国政報告等を都内会員への周知徹底を図る。	1) ①② 候補者の知名度調査・識調査 ③ 地区・支部活動状況 2) コンプライアンスの理解度 3) ホームページへのアクセス件数
	目標2 看護政策の実現	1) 政策実現力の強化 2) 看護協会以外の関係団体との交流の促進 3) 現場の声の把握と改善 4) 新興感染症・災害対策に対する政策の推進	1) ① 東京都選出の各級議員の政策説明会等に参加し連携を図る。 ② 医療系・介護系団体との連携を図る。 2) ① 都内で働く看護職者が積極的に「現場の声」アンケートを活用し発信できるよう周知するとともに結果をフィードバックし共有する。 ② 施設訪問・研修会等で「現場の声」を把握し、要望に繋げる。 ③ 必要時、施設看護責任者と情報交換をする。 ④ 政策提言された内容や制度改革に反映された成果をタイムリーに会員に広報・伝達をする。 ⑤ 都議会議員または区市町村議員との定期的な意見交換の場をもつ。 4) 新興感染症、災害対策は必要に応じて日本看護連盟、看護協会等と情報共有する。	1) ① 日職域活動実績 ② 他職能団体との連携実績 2) ① 日本看護連盟ホームページアンケート結果 ② 区議会等への要望書 ③ 施設訪問報告書より ④ HPの活用とアクセス数 ⑤ 都議会との情報交換会1回 ⑤ 区議会との情報交換会3回以上
	目標3 看護を支援する国会議員の確保と支援	1) 都選出の国会議員との連携強化	1) ① コンプライアンスに基づいた政治活動を実施する。 ② 政治活動・選挙活動・研修会を開催し、主体的に政治活動・選挙運動ができるように支援する。 ③ 各地区活動において、各級議員との良好な関係を構築する。	1) 職域活動実績
	目標4 地方議員、地方行政への影響力の強化に向けての支援	1) 都内における看護問題等を各級議員と共有し政策提言の実施 2) 行政等との情報交流の確立	1) ① 都・区市町村議員との交流の場を設け、看護連盟に対する理解を深める。 ② 都議会自民党と都内病院等施設看護管理者との情報交換会を開催し、都内における医療・看護の現場の課題を共有し問題解決に繋げる。 ③ 都・区市町村議会、行政への要望書を提出する。 （2025年度3区 2026年度さらに拡大する） ④ 都・区市町村議員の活動に協力し支援をする。 2) 行政の看護政策に関する情報収集をおこない、政策実現のための働きかけをする。	1) ①～④ 職域活動実績 2) 東京都への要望内容と回答
	目標5 看護職地方議員の支援	1) 看護職地方議員との連携強化 2) 看護職地方議会議員候補者の発掘と育成支援方	1) ① 2027年度統一地方選挙に備えた、各地区・支部を中心に区市議員への協力・支援を行う。 ② 都・区市町村議員等の選挙協力を最大限行う。 2) 該当者がいる場合は支援する。	1) ① 目黒区議会（看護職議員）との目黒区内施設訪問の実施状況 ② 職域活動実績 2) 都議会選挙結果
組織力の強化・拡大	目標1 会員の確保対策	1) 看護連盟のパーパス（存在意義）の策定と浸透 2) 会員増に向けた新たな勧誘活動の推進と目標設定 3) 日本看護連盟入会に関する規約の検討を受けた対応 4) 他団体に対する加入勧誘の推進 5) 多方面から加入勧誘活動を推進 6) 若年層の確保に向けてUPS（Unbelievably Powerful Star）＝信じられない位力のある星メンバーの倍増	1) ① 看護連盟のパーパス（存在意義）の策定に参画し完成したパーパスを浸透することができる。 ② 青年部支部、UPSメンバーが中心になり浸透活動の企画、運営を行う。 2) ① 東京都看護協会会員数の5%の会員数を確保する。2000名を確保する。 ② 未加入施設への施設訪問をし、入会を働きかける。 ③ UPSメンバーの勧誘による若手看護職の新入会を進める。 （現在13名のUPS×3名＝39名） 4) 5) 6) ① 継続会員の確保促進のため施設支部を持つ施設、支部役員施設においてUnbelievably powerful star（Ups：アップス＝信じられない位、力のある星）を導入し、活動の活性化を図る。 ② UPSメンバーの勧誘による若手看護職の新入会を進める。 （現在13名のUPS×新入会者3名＝39名） ③ 支部長・施設連絡員・病棟リーダー間の連携とチームワークの強化を支援する。策情報をタイムリーに役員・支部長等に発信する。	1) ① パーパスの説明回数と反応 ② 青年部支部・UPSの活動実績 2) ① 会員入会推移 ② 施設訪問状況 ③ UPSの働きかけによる入会数 4) 新規入会状況 5) UPSの活動計画、評価 学生会員数 賛助会員数（企業）

項目	目 標	方 針	活 動	評 価 指 標
組織力の強化・拡大		7) ひまわり会支部の活性化 8) 訪問看護ステーションの会員の開拓	7) 60歳以上の個人会員をひまわり支部メンバーとしているが年間活動企画時に案内しOB会の意義を周知する。 8) 東京都訪問看護協会加入の訪問看護ステーション、事業所等への施設訪問を実施し交流を促進する。	7) ひまわり支部の活動と入会数 8) 訪問看護ステーションの入会状況
	目標2 若手会員の育成	1) 青年部支部の活性化 2) 若手会員であるUPSメンバー定着と拡大・活動	1) ① 青年部支部を新規に設置する。 ② 青年部支部より幹事を起用し、若者の意見を反映する。 ③ 青年部支部の企画・運営活動を支援する。 2) ① UPSメンバーが生き生きと連盟活動に参画できるよう支援する。 ② 現在のUPSメンバーを増員できるよう各施設の協力・理解を進める。 ③ UPSメンバーは連盟活動に参画し、連盟の存在意義を体験するとともに会員又は非会員に連盟の活動を伝え広める。 ④ UPSメンバーの勧誘による若手看護職の新入会を進める。 (現在13名のUPS×新入会者3名=39名)	1) ①②③ 青年部支部/UPSの活動実績 2) ①～④ UPSの働きかけによる入会数
	目標3 効率的な組織運営	1) 規約に基づいた効率的な運営 2) 財政の健全化と適正化	1) ① コンプライアンスに基づく組織運営を行い、効率的・効率的な運営をする。 ② カテゴリー別研修新規に導入し、カテゴリーⅠ～Ⅳの評価を行う。 ③ 未入会者及び会員に対して連盟活動の意義を理解し協力を得るためカテゴリー別に基礎研修を実施する。(青年部支部担当) ④ 適正な組織運営を行うために規約・細則・申し合わせを適宜見直し適正な組織運営を行う。 2) 会員減少が著しい中、費用対効果を最大考慮した運営をする。	1) 会員数の推移・新規入会数 カテゴリー別研修計画の評価 2) 収支状況・経費削減状況
	目標4 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の充実強化 2) インターネットを活用した情報発信	1) ① 日本看護連盟機関誌「アンフィニー」(年4回)発行を周知する。 ② 機関紙「東京れんめい」発行し、東京都看護連盟の活動を情報提供する。(広報委員会) 2) 東京都看護連盟ホームページを活用し、タイムリーな情報提供を継続する。	1) HPアクセス状況
	目標5 地区・支部組織の活動の強化・促進	1) 支部長を中心に地区の特性を生かした効率的な運営 2) 看護職国会議員及び看護政策の動向の周知 3) 加入勧誘活動の推進	1) コンプライアンスに基づく組織運営を行い、効果的・効率的な運営をする。 ① 日本看護連盟の情報を東京都看護連盟役員・支部長・施設連絡員と共有し円滑な活動を推進する。 ② 各地区・支部は各級議員等を交えた、ミニ研修会を企画実施する。(1回/年以上) 2) 自律した会員の育成型ざし研修を実施する。 ① 教育委員会企画4回 ② 国会見学1回 ③ 管理者研修1回 3) 未入会者及び会員に対し連盟活動の意義を理解し協力するために基礎研修を実施する。(青年部委員会担当) 4) 組織運営のための規約・細則・申し合わせを適宜見直し適切に運営する。 5) 費用対効果を考慮した活動を推進する。	1) ① 地区ごとの会員数の状況 ② 研修会等の実施状況 2) ① 受講者のアンケート評価結果 3) 入会者の獲得に繋がったか 4) 必要時実施 5) 上半期・下半期の会計状況を評価
	目標6 看護連盟の活動強化及び周知徹底	1) 日本看護連盟の新たな情報の共有 2) 「対象別研修の標準的枠組み」に沿った体系の作成と実施	1) ① 日全国青年部代表者ミーティング、青年部ブロックミーティングに参画し青年部ビジョンをもとに会員獲得や政治力強化に向けた具体的実践をもつ若手を育成する。 ② 第27回参議院議員選挙に向けて、青年部の活動を共有する。 2) 青年部支部の年間活動を支援するとともに、施設支部等に青年部下部組織が形成できることを支援する。 3) 定例会議、都道府県別会議、ブロック別政策セミナーへの青年部の参画を支援する。 4) 各種研修会や看護学校等の講師として活動できる場の獲得を推進する。 5) 各研修会時の基礎研修を引き続き担当し、若手看護職員への入会動機付けを行う。	1) ①② 青年部支部活動による会員等の掘り起し 2) 下部組織化のプロセスと実績 3) 青年部支部の参画状況 4) 5) 交流、連携企
	目標7 看護連盟・看護協会との連携・協働	1) 東京都看護協会と連携強化	1) 相互の活動内容の情報共有と政治活動、会員確保等の協力体制について行動計画に基づき協働する。 ① 月1回情報交換会(第4火曜日)を開催し情報の共有を図る。 ② 共催管理者研修会を開催する。(年1回) ③ あらゆる機会をとらえ、看護連盟会長と看護協会会長が相互に組織の役割と機能、活動について共有する。	1) 活動実績
会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) 災害発生時は迅速に情報を発信する。 2) 災害見舞、支援金等の支援をする。	1) 2) 支援状況
	2. 福利厚生への対応	1) 都看護連盟内規に基づく対応	1) 名誉会員・叙勲等受賞者への対応を行う。 2) 物故者・慶弔等への対応をする。	
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全保証	1) コンプライアンスに基づく政治活動、選挙活動のための情報交換を行う。 2) 諸般の疑問・問題は日本看護連盟と相談し、速やかに解決する。	

2026年度研修計画

「看護師の思考を学ぶ～思考発話の実践～」

日 時: 2026年7月11日(土) 14:00～16:00

会 場: 東京都看護協会302号室

「基礎から学ぶ心不全の看護」

日 時: 2026年10月3日(土) 14:00～16:00

会 場: 東京都看護協会302号室

「看護師のための急変対応、初めの一歩
～その変化、見逃していませんか～」

日 時: 2026年12月5日(土) 14:00～16:00

会 場: 東京都看護協会301号室

「急変時に慌てない！ショック対応と報告のコツ」
～急変のその先へ症例を通して学ぼう～

日 時: 2027年1月23日(土) 14:00～16:00

会 場: 東京都看護協会301号室



「現場の声」をお聞かせください

[対象] 病院、診療所、訪問看護ステーション、介護施設などに勤務する看護職

iDeCo、NISA に続く第3の資産防衛法についてお伝えします！

資産形成不動産オンラインセミナー

【開催日時】

①
10月13日(火)
19:00～19:30②
10月24日(土)
11:00～11:30③
11月5日(木)
20:00～20:30

講師プロフィール

【主なメディア出演】

- ・日本経済新聞社やマイナビ主催の各種セミナーにて講師を担任
- ・CS放送「アクトオンTV」に2011年より7年間出演
著名人との共演も多数
- ・JCOM Wonder Studio トークショーに講師として出演
- ・働く女性向け専門誌「プレジデントウーマン」への掲載

JRD株式会社
佐伯 真吾
森口 真樹

セミナー参加特典

Amazon ギフトカード
1,000 円分

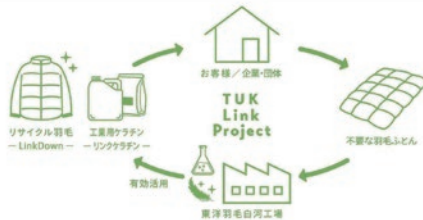
お申し込みはこちら

0120-206-612
(平日 10時～18時)
JRD 株式会社
東京都渋谷区神宮前 6-12-20
J6Front7 階2026年度
賛助会員になられた会社株式会社 Timee
株式会社 OPERe
フオーク株式会社賛助会員としてご入会下さい。
よろしくお願いいたします

不要な羽毛ふとんはありませんか？

東洋羽毛が
無料でお引取りします

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は羽毛ふとん(ダウン率50%以上)です。ただし、東洋羽毛の羽毛ふとん、羽根まぐら(ダウン率50%未満)は引取り可能です。羽毛以外のふとん類やリサイクル羽毛として活用できない物は引取りできません。



東洋羽毛首都圏販売株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-22-19朝日生命代田橋ビル12F

東京営業所

☎0120-195-804

お試し施術
あります!!忙しい医療に関わるみなさまへ
美容×健康×癒しを「あなたの職場」で「お好きな時間」にご提供!
自身に合った施術者・セラピスト・エステティシャンをお届けします。

詳しい情報やご質問は電話・メールでご相談ください(担当 佐藤)

☎ 090-6747-3795
✉ info@angels-healing.com

只今、横浜市立大学医学部キャンパス内で出張施術を実施中!

<機関誌「東京れんめい」に関するご意見を聞かせて下さい>



2001年に「看護連盟東京支部だより」の発行を開始し、2005年に「東京れんめい」へ名称を変更し、2023年8月に「東京れんめい50号」を発行することが出来ました。

これからもより良い機関誌にするために皆様からのご意見を伺いたと思います。QRコードから皆様の声を聞かせて下さい。

【編集後記】

今号では、研修会や総会など東京都看護連盟の活動をご紹介しました。研修会では、身体拘束低減や急変予測など、日々の看護実践に役立つ多くの学びが共有されました。また、青年部は「ナース祭り」の活動に積極的に取り組み、通りがかりの方々が足を止めて話を聞いてくださる場面も見られました。看護への関心や理解を広げる活動の大切さを改めて感じています。

これからも会員の皆さまとともに学び、つながり、看護の未来につなげる活動を発信してまいります。

広報委員長 佐伯 真吾

<広報委員会>

委員長 佐伯 真吾
委員 窪田 和巳
委員 戸鹿里 文子
新委員 柳原 孝彦